

学校教育目標	めあてをもち よく考えて行動し 最後まで挑戦する 児童の育成
育成を目指す資質・能力	主体的・対話的で確かな学びを実現することができる力

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・国語では5年「我が国の言語文化に関する事項」、6年「情報の扱いに関する事項」「書くこと・読むこと」の内容に課題がある。 ・算数では、単元により極端に苦手な分野が存在している。 「6年 変化と関係・データの活用」 ・理科では予想・結果・振り返り等、自分の考えを書く力に課題がある。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・学習したことを反復して学習する機会が少ない。 ・話す・聞く視点をもたず、漠然と話し合っている。 ・身の回りの事象について、データに基づいて判断したり、生活や他教科と関連付けたりしながら読み取ることが苦手である。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・89%の児童が「授業中に自分の考えを進んで発表したり、近くの友だちに伝えたりすることができた」と答えている。そして、「友だちの考えと比べながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができた」と回答した児童も86%に達し、目標値（80%）を上回っている。考えや意見を持ち、伝えようとする児童が増えてきている。 ・単元テストのやり直しをして、自分の力を伸ばすことができた児童も85%いた。しかし、単元末テストなどの誤答や取組の様子をみると、基礎・基本の定着が不十分な児童がいることが課題である。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ①週1回のフリートークや教師による価値付けを行い、望ましい聞き方・話し方の土台づくりの取組…91%実施 高い水準で実施し、フリートークへの意欲も高まり、グループでの対話も増えてきている。引き続き指導を続けていく。 ②進んで考えを伝え合うことができるような学び合いの場を工夫…97% 意識して取り組んでいるが、対話の工夫に取り組む困りや書く力などへの不安がある。聞いたことを伝え合うことができるように(アウトプットできる)指導をしていく。 ③単元テストの補習を確実にを行い、基礎・基本の定着指導方法の工夫・改善…100% 学年の実態に応じた教科担任制(3・4・5・6年) 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・朝の15分間の「フリートーク」、「チャレンジタイム」の取組による基礎・基本の定着(火曜日、金曜日)…フリートークの実施により、基礎・基本を養う時間が取りにくくなった →週末課題を工夫して補うようにする ・「読み取り」「書く」「表現力」の向上をねらった週末課題の取組 ・学習規律の徹底 ・掲示物等を工夫し、学習に集中できる学習環境	

学力に関する達成指標
国語・算数の単元末テストの「思考・判断・表現」で未定着層(正答率60%未満)の割合を15%以下にする。

今後の具体的な取組	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
	〈授業改善のテーマ・重点〉 主体的・対話的で確かな学びを実現できるこどもの育成 《授業改善の重点》 ①安心して発言できる授業づくりの推進 ②考えを深められる効果的な対話活動の工夫 ③次の単元、学年に繋ぐための基礎・基本の確実な定着	
	〈取組内容〉 ①フリートークと教師の価値付けによる望ましい聞き方・話し方の土台づくり ②考えを深められる効果的な対話活動の設定 ③チャレンジタイムの取組・単元テスト問題の補習	〈家庭・地域の取組内容〉 ①家庭学習の習慣化 ②家庭と協働して、子どもの成長を図る。 ③読み聞かせや学びの広場(公民館や青少協主催行事)を行う。
	〈取組指標〉 ①週に一回フリートーク及びそれに該当する活動を実施し、望ましい姿を価値付ける。 ②毎日、考えを深められる効果的な対話活動を取り入れた授業づくりを実施する。 ③毎回、チャレンジタイムや家庭学習などで、単元テストの補修時間を確実にとる。	〈家庭・地域の取組指標〉 ①月に1回以上家庭で「その日の学習したことを話す課題」を出す。 ②学期に1回ファミリーデーを行う。 ③学期に3回程度読み聞かせを行う。 年間を通して、学びの広場を1回以上実施する。
	〈検証指標〉 ①学期に1回、児童アンケートを実施し、「授業中、進んで発表したり、近くの友だちに伝えることができた」と答える児童85%以上。 ②学期に1回、児童アンケートを実施し、「友だちの考えと比べながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができた」と答える児童85%以上。 ③学期に1回、児童アンケートを実施し、「単元テストのやり直しをして、自分の力を伸ばすことができた」と答える児童85%以上。	〈家庭・地域の検証指標〉 ①授業で学習したことを話題にするようにしている家庭の割合80%以上 ②宿題や単元テストに目を通し、家庭学習の様子を理解している家庭の割合80%以上 ③読み聞かせ及び「学びの広場」の実施率が80%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○教師の授業力向上研修(視聴覚教材やICT機器等を使った実践的な活用方法や思考ツールを使った授業づくりの講習会、国語や特活などの授業実践交流)と成果の蓄積 ○基礎・基本の定着を図る個別指導や補充学習の取組 ○小中一貫教育の推進(表現力・実践力の育成、9年間をつなぐ学びの連携、話し合い活動の取組)	